

令和 8 年度 広島大学経済学部編入学試験

「専門科目」

入試問題解答例（〔Ⅰ〕問題 1，〔Ⅲ〕のみ）

〔Ⅰ〕

問題 1

（1）ハイパーインフレーション

（解答例） 物価水準が短期間で何倍も高騰する現象である。戦時あるいは戦後の混乱した特殊な経済状況などで生じる。

（2）買いオペレーション

（解答例） 中央銀行が金融機関から国債などの有価証券を買い入れることで、その代金を市場に放出し、市場の資金量を増やす市場操作のこと。

（3）コンドラチェフの波

（解答例） 画期的なイノベーションが景気を牽引し、約 50 年周期で景気が拡大と縮小を繰り返すという景気循環のこと。

（4）完全雇用

（解答例） 摩擦的失業や自発的失業を除き、経済全体において働く意思と能力のあるものがすべて雇用されている状態のこと。

（5）合成の誤謬

（解答例） ある個人にとって望ましい行動を皆が行ったとしても、マクロ経済にとっては必ずしも望ましいとは限らないこと。節約のパラドックスがその一例である。

（6）シグナリング

（解答例） 経済主体間で情報の非対称性がある場合、私的情報を保有している者が、情報を持たない側に自主的に情報を開示・発信するような行動のこと。

〔Ⅲ〕

問題 1

$$(1) f'(x) = 5(-3 + 4x)(2 - 3x + 2x^2)^4$$

$$(2) f'(x) = x^2 + 2x - 3$$

問題 2

最大値は、 $(x, y) = \left(\frac{3}{2}, 3\right)$ のとき、 $\frac{45}{4}$

最小値は、 $(x, y) = (1, 1)$ のとき、 2

問題 3

$$(1) \frac{247}{250}$$

$$(2) \frac{49}{247}$$

問題 4

$$(1) \text{ 確率 } P(0 \leq X \leq 10) = \frac{1}{2}$$

$$(2) \text{ 期待値 } E(X) = 10$$

$$(3) \text{ 標準偏差 } \sigma(X) = 2\sqrt{5}$$